

古神社祭神から推測する春日井に展開した製鉄族の実像

—西山製鉄遺跡ができる歴史的背景—

2019.05.18 (土) 10:00

春日井ささえ愛センター

在野一生

(はじめに) 古代史探求の方法

諸科学成果を生かした経験科学的推論構築 (非実証主義)
否定できない事は、論理的矛盾のない限り採用し総合化する
実証できない事だけを根拠として全否定しない

(序章) 古代史を紐解くための視角

- ・天孫降臨：日本神話 (弥生) 期は歴史時代 (資料の年表を参照)
- ・二派の天孫：丹波 (天照國照彦天火明櫛玉饒速日尊) と日向 (瓊瓊杵尊)
- ・渡来弥生族の実態は弁辰族 (I 章で)
- ・出雲 (弁辰諸国連邦) は、弥生期 (天孫族渡来前) の産鉄・交易国家
 - * 出雲国風土記→出雲国引 (4 国) 八岐大蛇の尾から出た「草」那藝之大刀
- ・出雲の 2 王族 (弁辰王族)
 - 東出雲神族 父神：久那斗神 * 大山、櫛 (稲田姫) = 小伽耶 (古資彌凍国) 族
 - * 熊野大社 (伊邪那伎日真名子 加夫呂伎熊野大神 櫛御氣野命)
 - 西出雲神族 母神：佐比賣神 * 三瓶山 (宇佐=于尸山族)
 - * 杵築大社 (神職は婿入した天孫族の天穗日命系譜)
- <参考> 出雲四大神 = 東 + 西出雲神族 + 両族の王子 + 天孫族
 - 熊野大神、所造天下大神 (八千矛神)、佐太大神 (猿田彦)、野城大神 (天穗日命)
 - * 「ノ」金官伽耶、大伽耶の王姓音。
- ・出雲族の製鉄手法<南方系低温製鉄>
 - 製鉄資源：川床鉄、褐鉄鉱、草根鉄・鬼板などの水酸化系
 - 出雲神事：蛇 (海洋) 神が諸神を引率する。
 - 弁辰地域は低温製鉄族。
 - 金官伽耶首露王の後：許黄玉はアーナンダ国王女筋 * ナーガ国系低温製鉄
- ・古代濃尾は、出雲神族開拓地 (II 章で)

I 渡来弥生族の出自と根拠地 * 「春日井たたら研究会紀要 4 号」在野一生論考を参照
—往古—

- ・中国大陸における黒 (海洋系牛・蛇) 族と白 (狩猟・牧畜系羊) 族の抗争
—神話時代—
- ・河姆渡 (BC50C)、仰韶、紅山 (BC47)、良渚 (BC35C)、龍山 (BC30C)
- ・太皞伏羲と女媧は蛇族 * 南方系海洋族が大陸全域に展開



蛇の交尾姿。Cf. 注連縄。

- ・東夷族をまとめた少昊金天氏（山東省曲阜市に墓）。
少昊金天氏の官はおしなべて「鳥（太陽神使）」名。
- ・**蚩尤（羌族）と東夷（太陽）九族** *兵主（牛）神。龍山文化系か？
鉄を食む蚩尤と吠、干、方、黄（倭）、白、赤、玄、風、陽（狼族）
山東半島周辺に展開 *弥生人のDNAは山東半島周辺同様
東夷（太陽）族を束ねた蚩尤
「弓の名手（姜族）が太陽を射落とす」（楚辞の天問篇注、月神姮娥の夫：羿）
羿は弟子の逢蒙に桃の木の棒で撲殺される。
*高句麗始祖：朱蒙＝弓の名手、神器は多忽弓
- ・黄帝（華夏族）が東夷族（後の三苗（濊）族）を破る。仰韶文化系か？
—歴史時代—
- ・夏（BC20C）は、狩猟（熊）・畑族。 *二里頭遺跡
- ・**殷（商、BC17C）は東夷系** *二里岡遺跡。王はすべて鳥名。
優れた青銅器文化。王族は周代に箕子（番韓）朝鮮
- ・周は、羌族を取り込んで殷を滅ぼす。
※周代における東夷像
「子欲居九夷 或曰陋如之何 子曰 君子居之 何陋之有」＜論語＞
「東方のことを夷という。夷とは根本の意味である」「（その意味は）恵み育て生命を尊重することで、万物は土地に根ざしてできるものである」＜礼記王制篇＞
「東夷は一般に心穏やかに行動し、心に謹むことを慣習としている。これは他の三方の蛮夷（北狄、西戎、南蛮）と異なるところである」＜後漢書東夷伝＞
「東夷諸国は夷狄の邦といえども、俎豆（そとう）の礼がある。中国ではすでにその礼を失ってしまったが、東夷ではそれがまだ信じられている」＜三国志東夷伝＞。
cf. 蘇塗（鳥杆・神竿・鳥竿）
- ・**秦王は、少昊金天氏系譜**
徐福集団が列島へ渡来
- ・漢（漢族）
秦の亡命集団（徐珂殷族、濊王印）が潘耶（扶余）へ併合
漢が東北部へ侵攻→三韓（扶余）族瓦解、真（辰）韓・番（弁）韓族の南下
- ・馬韓王が真番族を弁辰地域へ配置
弁辰族が列島へ渡来（弥生族主力）
辰韓は、**秦系譜**（サ族）。弁韓は箕子朝鮮（**殷**王族、イ族）系譜。
*「伊」の本質は、東「夷」そして「殷」にある。
∴ 出雲＝伊豆毛＝伊族＝東夷族＝殷族。大国主の別名：伊和大神。

II 濃尾の古神社分布

<美濃>

一宮：南宮大社（金山彦） 諏訪神社（出雲神：建御名方神）の中宮

*「四色の金（カネ）」**黒（鉄）**、赤（銅）、黄（金）、白（銀）

金生山に褐鉄鉱の鉱脈

*金山彦—天津国玉神—天稚彦・下照（木股）姫 ・後裔は不明

↑天孫族 ↑八千矛神と曳田八上姫の子

二宮：伊富岐神社（彦田田須命）三宮祭神の祖父

天火明命⑧孫日本得魂命（一云彦田田須命、垂見宿禰、丹波道主）

*垂井、樽見。

三宮：伊奈波神社（五十瓊敷入彦命）鉄劍千振奉納

祭神の母（天火明命⑨孫日葉酢媛：⑩垂仁后）が彦田田須の子

揖斐：花長上・下神社（赤衾伊農意保須美比古佐倭氣命とその后＝八千矛の両親）

→阿豆良神社（一宮市）

三輪神社（八千矛神）

*「イビ」は、伊部（出雲族開拓地）の訛り。褐鉄鉦鉦脈。

「フワ」は、事代主神：「布波」能母遲久奴須奴神。

各務原市：村国真墨田神社（天火明命、金山彦）

※（西）出雲神族と天火明命の土地柄

<尾張>

一宮：真清田神社（天火明命）

*三輪神社（八千矛神）、阿豆良神社（八千矛神の母神）

二宮：大縣神社（迹波縣君祖：大荒田命） *積羽八重事代主神（東出雲神族）系譜

三宮：熱田神宮（草薙劍＝天叢雲劍） *八岐大蛇（出雲）王の象徴

*奥宮は高座山（天香語山命） *阿多賀田須命系譜

*天火明命一天香語山命（高倉下）一天村雲命・・・尾張氏

*大山祇一天香語山命（高座神）一高倉下（天火明命の養子に）

III 春日井の古神社

① 和爾良神社（上条町 8-3619）元地は朝宮神社とも *和爾良＝伽耶族邑

【出雲神族口伝系図】

臣津野（国引神）一阿多賀田須命（宗像神） 一多岐津姫（江ノ島神）

| *味鏡、味美、味岡

一佐倭氣命（天津甕星と推測）一八千矛一味耜高彦根一大屋姫一高倉下

※和爾坐赤阪比古神社（天理市和邇町）祭神：阿多賀田須命

大山祇の子が瓊瓊杵尊后：木花開耶姫命（神阿多都比売）と石長（木花知流）姫

大国主后が「阿陀」加夜奴志多岐喜比賣命

② 高蔵神社（五社神社） 熱田神宮奥宮 *水晶、付近の古墳で多羅伽耶系鉄製品

【秀真伝神系図】

大山祇一橘山積——天香語山命、天道日女（天火明命の後）一高蔵下（天火明命の養子に）

↑阿多賀田須命の可能性



高蔵神社と磐座

「石神・磐座・磐境・奇岩・巨石と呼ばれるものの研究」HPより引用

*松原神社（高皇産靈尊） 東山古窯、西山製鉄遺跡地域の中心

③ 尾張戸神社（天火明命、高倉下、建稻種命）

天香語山命が鹿乗橋を越えて南下。

④ 伊多波刀神社（上田楽町 3454） * 「タラガ」多羅賀＝多羅伽耶族邑

祭神の高皇産靈尊は、高座山の神；天香語山命が妥当

⑤ 春日部郡周辺その他の神社

多気神社（小牧市多気中町 242）

外山神社（小牧市北外山 1494）

銅鐸出土。「外」は登美（東出雲神）族開拓地名。

鳴海杵神社（西出雲神族王：遠津山岬多良斯神）、鳴海神社

成海神社 * 積羽八重事代主神の子：鳥鳴海神

IV 結語

古神社（祭神）分布から判断して、濃尾は東西出雲神族の開拓地。

春日井は、元来、西出雲神族；阿多賀田須命と味耜高彥根神の土地柄。

* 阿多→熱田

そして、天照國照彦「天火明」櫛玉饒速日尊と協調して開発。

* 方形周溝墓文化

両族の（南方系）製鉄文化が紀元前後からあったと推測できる。

古神社祭神から推測する春日井に展開した製鉄族の実像<資料>

(はじめに) 経験的な見方の例

【春日】 ka-su-ga 伽(耶)須賀=伽耶族産鉄邑の部族的特徴を「春日」と表現
「ソ」の音表記である須、祖、素、曾、蘇、楚、塩はしばしば鉄の意。
春日=朝日=東=東王父(東夷王)=太陽信仰族=南方系海洋族
Cf. 秋=西=西王母=月神信仰=西方系畑作・牧畜族
春日 ka-su-ga → k 子音落ち、k → g 子音転訛 = a-su-ka = 飛鳥
和爾良 (khwa-ni-ra) 神社:阿多賀田須命=阿多族生産邑長
「カニラ」=迦爾良=伽耶族開拓地 *可児、蟹、萱=草・柏・栢(カヤ)
Khwa (伽) = (kh) wa (倭) → 迦爾(可児、蟹) = 和邇

(序章) 古代史を紐解くための視角

・日本神話期は<歴史>時代

【弥生時代】

伊都国博物館)

「鉄器の生産などが縄文時代晩期には整っていたことが確認された」

BC1046 (西)周、箕子朝鮮(番韓)

BC930 菜畑遺跡(唐津市) *弥生時代始期

*最古の稲もみ殻:長江下流の上山遺跡(浙江省浦江)約1万年前。

—弥生時代前期—

BC770 春秋時代(東周)

BC685 齊が覇者に

BC636 晋が覇者に

BC613 楚(南蛮)が覇者に

BC501 吳(鉄と塩)が覇者に *南方系低温製鉄技術の進化

BC496 越が覇者に 楚の盛り返し

BC453 戦国時代 *山東半島、朝鮮半島、支石墓文化

—弥生時代中期—

※石崎曲り田遺跡:鍛造製板状鉄斧

BC4C 吉野ヶ里で集落形成 *北九州の支石墓文化消滅

BC3C 吉野ヶ里遺跡 最盛期 環濠集落 *金属文化本格化

*甕棺、大型長方形墓(BC1C)

青銅器、鉄器、勾玉、管玉、銅剣(BC2C)、銅鏡、織物などが出土
古墳時代初の前方後方墳、方形周溝墓



- BC221 秦の統一 *秦王は東夷族系譜
- BC219 徐福が現：河北省秦皇島市から列島へ *裏日本（出雲～丹波）
- BC210 現：浙江省寧波市慈溪市から列島へ *九州、四国、紀伊、遠州
- BC201 (前) 漢
- BC195 衛氏朝鮮（箕子朝鮮：④箕準滅亡）
- BC108 漢四郡設置（衛氏朝鮮滅亡：③右渠）
*四郡は遼東地域。「樂浪、郡、故朝鮮国也、在遼東」後漢書：光武帝起注釈
- BC2 末 三韓（馬韓、弁韓、辰韓）
- BC57 新羅（斯羅）建国
- BC37 高句麗建国（朱蒙）
百濟建国（召西奴、沸流、温祚）
-
- 弥生時代後期— 海部氏勘注系図ベース
- BC1C 天照大神
*北部九州で甕棺墓が激減し土坑墓、石棺墓が多くなる
青銅器国産、鏡、劍、玉の3点セットの副葬
- 紀元前後 天忍穗耳命
樂浪系有樋式鉄戈（鑄鉄脱炭鋼） *金山彦、天津甕星
- AD1C 後半 天孫降臨：丹波天火明命 日向：瓊瓊杵尊 *八千矛神
*真清田神社（一宮）、村国真墨田神社（各務原）
后：天道日女は熱田神宮摂社
天香語山命 火遠理命 *下照姫・天稚彦
*熱田神宮摂社：高座結御子神社
天村雲命 日子波限建鵜草葺不合命
*熱田神宮（天叢雲劍）
- AD2C 後半 ③倭宿禰 神日本磐余彦
④笠水彦 ②③④
⑤笠津彦、建筒草 ⑤孝昭天皇 ⑥孝安天皇
*針綱神社
⑥孫：建田背命、建田小利命 ⑦孝靈天皇 ⑧孝元天皇
⑦孫：建諸隅命 ⑨開化天皇
*伊波乃西神社
⑧孫日本得魂命 VS ⑩崇神天皇
(丹波道主) *伊富岐神社
- 古墳時代—
- AD3C 箸墓古墳 ⑨意富那比命 和平 ⑪垂仁天皇・日葉酢媛
伊奈波神社
⑩乎縫命 ⑫景行天皇 泳宮伝承
- AD4C 東宮古墳 ⑪小登與命・真敷刀俤 日本武尊
青墓古墳 —濃尾地域が大和政権支配下に—
*上・下知加麻神社（星宮神社摂社）
⑫建稻種命、宮簀媛 ⑬成務天皇

AD5C 坊の塚古墳 ⑬志里都彦、尾綱根 ⑭仲哀天皇・神功皇后
 妙感寺古墳 ⑭尾治針名根連命 ⑮応神天皇
 *針名神社 (天白区)

・弥生渡来族の出自と根拠地

出 自：上記年表 (紀元前) から弁辰族 (殷王系 + 秦王系)

・殷王の系譜

少昊—蟠極—帝嚳—契—昭明—相土—昌若—曹圉—冥—王亥 (商始祖) —
 上甲微…主癸—商湯…紂王

根拠地：上記年表、地勢、金属文化から判断して弁辰地域と判断するのが妥当。



・朝鮮半島東北部→隠岐島→出雲～丹波～能登

・秀真伝神系図

彦坐命・息長水依姫—丹波道主 (彦多都彦) —日葉酢媛・⑪垂仁天皇—五十瓊敷入彦命

・海部氏勘注系図

⑦孫建諸隅命 —⑧孫日本得魂命 —⑨孫日女命 —⑩孫吾勝々速日命
 ↑彦由麻須命 ↑垂見宿禰：彦田田須命 ↑神大市姫、倭迹迹日百襲姫命
 ↑壹與と判断<在野一生>

・在野一生の視点

伊富岐神社祭神は、天火明命系譜の丹波道主=彦田田須。

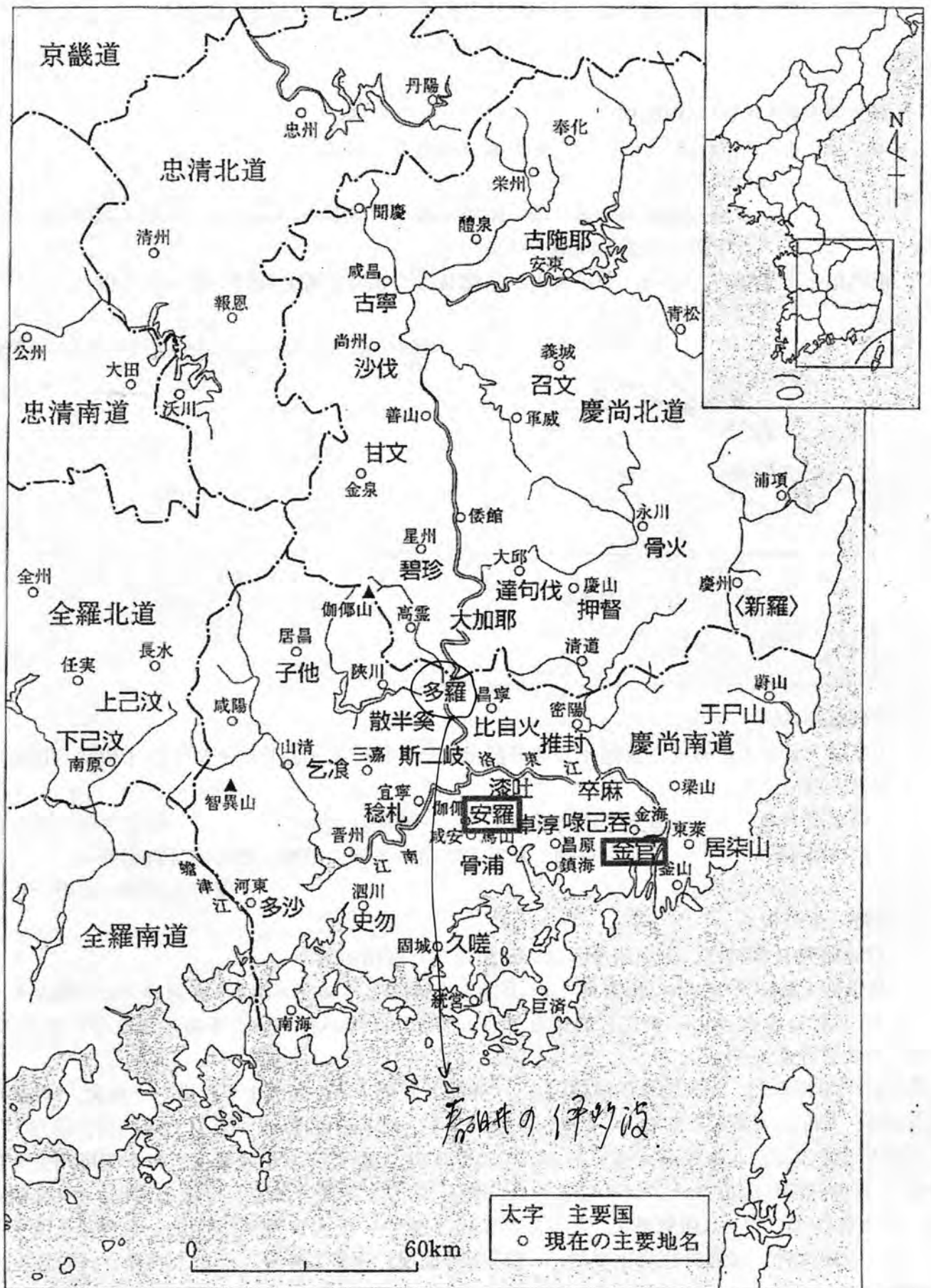
⑩崇神天皇が宮中2神 (出雲神、天火明命) を排除して物部×出雲・海部連合との戦乱発生、
 ⑪垂仁朝において大和 (物部) 政権と丹波 (海部) 政権が和平→五十瓊敷入彦命が鉄剣奉納。

※「熱田宮秘釈見聞」

熱田宮大明神本地、北天竺和伊露羅国主。彼国名云仏生石、高四十里、横六十里也。其岩中八葉蓮花座、其座云者花藏世界也。五智大日如来御坐、故名密巖浄土。東方大円鏡智、南方平等性智、西方妙觀察智、北方成所作智、中央法界躰性智也。雖然、為化度衆生、日本国尾州愛智郡垂跡給。東方阿閼仏因位ソサノヲノ (素戔鳴) 尊。南方宝生仏宮酢姫、今氷上宮也。又聖観音現給。西方弥陀イザナミ (伊弉册)。北方尺迦稻種尊也。中央大日天照大神也。今現給天蓼雲劍。此大日、天照太神、又熊野権現化現給。然則熊野権現、伊勢太神宮、熱田大明神一躰分身也。

[中略]

大宮本地五智。八剣宮不動明王。高蔵毘沙門。日破宮地蔵菩薩。氷上宮聖観音。源大夫殿文殊。大福田虚空蔵。記大夫殿十一面観音。青衾千手観音。



伽耶諸国図 (「古代日本と伽耶」 田中俊明より引用)

固城が小伽耶 (古資彌凍国) の首都